

第2次印西市ごみ減量計画を策定

市では、これまで平成13年度に「印西市ごみ減量計画」を策定し、ごみの減量化、資源化に取り組みました。

しかし、市のごみを取り巻く状況としては、千葉ニュータウン事業の成熟に伴う企業などの進出や合併による人口増など、さらなるごみ減量化施策を推進していくことが求められています。そのため、平成24年度より32年度を計画期間とした「第2次印西市ごみ減量計画」を策定しました。

策定に当たっては、市民の代表者や学識経験者などの委員で構成する市の付属機関「印西市廃棄物減量等推進審議会(高梨和光会長)」へ諮問を行い、合計4回の会議の中でご意見をいただくとともに、市民意見公募手続き(パブリックコメント)により策定段階の素案を公表し広く意見を募集しました。

これらの手続きを経て、今年3月に印西市廃棄物減量等推進審議会から「第2次印西市ごみ減量計画」の策定について答申をいただきました。



▲答申は高梨和光審議会会長により山崎市長へ

第2次印西市ごみ減量計画

(平成24年度～平成32年度)
—アクション・いんざい・ダイエット700—
(1人1日あたり700g以下の排出量を目指して)

アクション1 ごみの排出抑制・分別排出の意識啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 廃棄物減量等推進員制度等の導入検討 ・粗大ごみ処理有料化の協議検討 ・広報紙、ホームページによる情報提供 ・生活に密着したパンフレットの作製配布 ・エコショップマップの作製配布 ・ごみ減量化等説明会の開催 ・街頭啓発の実施
アクション2 環境教育・学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設や資源化施設等での出前講座の開催 ・教育機関と連携した学習機会の提供の検討 ・環境啓発イベント等における学習機会の提供 ・小学生向けの啓発物資の配布の検討 ・ごみ分別PRビデオ等の貸出事業 ・リサイクル情報広場事業の充実 ・ごみ減量・リサイクル優良団体表彰制度の検討
アクション3 ごみ減量・リサイクルの市民実践活動等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・大型生ごみ処理機導入事業の検討 ・事業系一般廃棄物減量計画書の活用 ・生ごみ減量化機器等の普及促進 ・リユース食器貸出事業 ・有価物集団回収奨励金事業の充実 ・拠点回収場所及び回収品目拡大の検討 ・ごみ集積所修繕等補助金制度の検討

◆民生委員・児童委員の活動
民生委員・児童委員活動の基

5月12日は民生委員・児童委員の日です
民生委員・児童委員は地域社会の福祉増進を図るため、市内各地区に配置されている地域で最も身近な相談・支援者です。市には、現在126人の民生委員が民生委員法に基づき配置されており、児童福祉法で児童委員を兼ねています。

⑥生活支援のはたらき…快適な生活ができるよう生活支援活動

①社会調査のはたらき…生活の実態や福祉需要の把握に努めます。
②相談のはたらき…生活上のさまざまな相談に応じます。
③情報提供のはたらき…介護や福祉の制度・サービスの情報提供をします。
④連絡通報のはたらき…関係機関との間に立って連絡役を果たします。

⑦意見申のはたらき…生活上の問題点や改善策について関係機関に意見を提起します。日々の生活で困っていること、心配なこと、誰かに相談したいとき、あるいは、各種の福祉制

度を利用したいと考えているときなど、地域の民生委員・児童委員におたずねください。※各地区の民生委員・児童委員については左記まで。
☎社会福祉課厚生班(☎内線255・256)。



▲山崎市長から吉野康夫氏(中央)、大越美知子氏(右)に委嘱状が手渡されました

民生委員・児童委員に2人を委嘱

4月1日付けで、民生委員・児童委員に次の2人が委嘱されました(敬称略)。
●大森 永治地区…大越美知子(大森第2担当)。
●印旛地区…吉野康夫(平賀担当)。

民生委員・児童委員は地域社会の福祉増進を図るため、市内の各地区に配置された、地域で最も身近な相談・支援者です。お気軽におたずねください。
☎社会福祉課厚生班(☎内線255・256)。

新体制で活躍する農業委員会

任期満了に伴う農業委員の改選が、2月26日告示、3月4日投票というスケジュールで進められていましたが、各選挙区ともに候補者が選挙をすべき委員の数を超えなかったため、無

投票で選挙による委員20人が決まりました。また、農業委員会は、選挙による委員のほか、農業委員会等に関する法律第12条の規定により、選任による委員を置くこと

とされており、5人の新たな委員が4月5日、市長より辞令の交付を受け総勢25人(左表のとおり)が、新たに農業委員として活動することとなりました。なお、任期は平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間です。

印西市農業委員 (50音順)

役職	氏名	担当地区
会長代理	飯岡 雅行	松崎・結縁寺・多田羅田
	石井 光一	中根・荒野・角田
	石橋 和夫	鎌苅・師戸
	板橋 雅弘	浦部(本郷)・小倉・和泉
	岩井 猛和	笠神
	恩田 治郎	武西・戸神・船尾
	笠井 重夫	山田・平賀
	河村 錦一	安食卜杭・将監・本埜小林・松木
	齋藤 輝臣	岩戸・吉田
	櫻井 健一	造谷・大廻
会長	篠田 英治	木下・竹袋・別所・宗甫・鳴沢
	篠田 道雄	全域
	杉野 友和	大森(中ノ口・六軒)・発作・亀成
	丹谷 一男	草深・泉
	寺本 繁美	瀬戸・松虫
	土井 治夫	竜腹寺・滝・物木
	富井 忠男	萩原・吉高
	松田 貞夫	小林
	森田 文雄	中田切・酒直卜杭
	山崎 幸雄	浦部(宮内)・白幡・浦部新田・高西新田
板橋 睦	大森・古新田・鹿黒	
岩井 宏之	行徳・川向・下曾根・中・萩埜・押付・佐野屋・和泉屋・甚兵衛・立埜原	
豊田 光信	草深(原)	
服部恵美子	下井・長門屋	
渡邊 久枝	平岡	

シリーズ・心の道標③

「一歩踏み出す 若者塾」

☎社会福祉課障害福祉班(☎内線268)

市では、15歳～35歳のひきこもりがちな人を対象に「一歩踏み出す若者塾」を開催しています。

家からなかなか出られないという人、社会とのつながりをなくしている人を対象に、精神保健福祉士が実施するグループワークやSST(生活技能訓練)を活用し「語って・学べる場」としてご利用していただいております。

ご家族のみの参加も可能です。初回のご利用者は、事前申し込みが必要です。

※詳しくは本紙9ページに掲載。

☎奇数月第3木曜日・午後1時30分～3時30分。

☎そうふけふれあいの里。

☎社会福祉課障害福祉班(☎内線268)。

市では、社会福祉課障害福祉班で保健師・精神保健福祉士が相談に応じます。